

知っ得

なっとく

No.221

2026.2月発行

『安さ』の裏にある消費トラブル

トラブル①：広告と異なる商品が届く！

例 カシミア100%と記載されたセーターをSNS広告で見つけ、商品を購入したが、届いた商品の素材が違うものだった。

トラブル②：商品が届かない！

例 ブランド品が安く買えたため、注文し代金を支払ったが、商品が届かず、販売サイトとも連絡がとれなくなった。



アドバイス

- 相場よりも極端に安いなどお得感が協調されている場合は要注意！
- 注文前に、販売サイトの住所や連絡先等が記載されているか、記載された住所に所在しているかを確認
- メーカーやブランドの公式サイトで偽物に関する注意喚起が掲載されていないかを確認
- 少しでも怪しいと思ったら注文はやめましょう

不審な勧誘によって契約をしてしまった等、困ったときには消費生活センターにご相談ください。

国民生活センターは、年代別に高齢者や子ども・若者が巻き込まれやすい消費者トラブルを、分かりやすく解説しています。家庭や地域での見守りや予防に役立つ情報です。ぜひご活用ください。

見守り新鮮情報

見守り新鮮情報
公式サイトだと思ったら？ ESTA等の電子渡航認証申請は慎重に



子ども・若者サポート情報

子ども・若者サポート情報
抱っこひも正しく装着して事故を防ぎましょう！



エシカルな一日を実践



「通勤・通学」で
自家用車ではなく
バスや自転車を使う

「おうち」で
詰め替え商品を使用し
容器を再利用

「お買い物」で
地元で採れた
野菜を買う

エシカル消費のコツ



広島市消費生活センターのご案内

消費生活相談
ご相談は来所、電話、メールでお受けしています。

●電話相談
☎ 082-225-3300 (消費生活相談専用)

●メール相談
右の二次元コードの入力フォームからご相談ください。



【開館時間】 10:00~18:00
【休館日】 火曜日、日曜日、祝日・休日と12月29日~1月3日

消費生活出前講座をご利用ください！

市内の学校、高齢者団体、町内会など各種団体・グループ等からの申込みにより、消費生活専門相談員等の資格を有する講師を派遣して出前講座を実施しています。
みなさんと一緒に消費者被害に遭わないための出前講座を開いてみませんか？

- 講師派遣：無料
- 時間：約1~2時間
- 参加者：広島市内にお住まいの方で概ね15名以上
- 土曜日、日曜日、祝日も派遣可能です。

【申込み・お問合せ先】
公益社団法人広島消費者協会
TEL・FAX 082-225-3320



エシカル消費とは？

エシカルとは「倫理的」という意味で、エシカル消費とは、「地域の活性化や雇用などを含む、環境、人や社会、地域に配慮した消費行動」のことです。2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち、12番の「つくる責任 つかう責任」に関連する取組です。

12 つくる責任 つかう責任



エシカル消費の取組～私達の行動が世界を変える!?～

環境にやさしい消費

環境への負荷が少ない商品・サービスを選ぶ

人や社会にやさしい消費

皆が暮らしやすい社会に役立つ商品・サービスを選ぶ

地域にやさしい消費

地域の活性化につながる商品・サービスを選ぶ

エシカルマップをご活用ください！

エシカル消費に関連する商品を取り扱う店舗や、飲食店、取り組みなどを「エシカルマップ」としてまとめ、市ホームページで公開しています。エシカルマップ登録店でお買い物をするのもエシカル消費の第一歩です。

エシカルマップ登録事業者大募集！

登録方法、登録基準について

○登録方法、登録基準等の詳しい募集内容については、電話や右のQRコードにアクセス若しくは当センターのホームページをご覧ください。メールでもご質問をお受けしています！
TEL：082-225-3329
メール：shouhi@city.hiroshima.lg.jp



日々の生活の中で取り組む行動

7:00



オーガニックコットンの服を着る

人権や環境に配慮した一定の基準が守られたオーガニックコットン製品を選ぶことは、環境を守り、生産者の健康を支えることにつながります。

12:00



マイボトルを持ち歩く

ペットボトルをマイボトルに変えることで、プラスチックゴミを減らし、地球にやさしい暮らしにつながります。



エシカルな1日をすごしてみよう

18:30



葉っぱや皮を余さず調理する

捨てられがちな部分も活用することで、家庭から出る食べ物の廃棄（食品ロス）を減らせます。また、皮や葉には食物繊維やビタミンが豊富に含まれていることが多く、健康にもプラスです。



日々の生活の中に
思いやりの視点を
プラス

8:30



自家用車ではなくバスや自転車を使う

自家用車の利用を減らすことで、CO2排出量を抑え、環境保護につながります。また、自転車を使うことは運動になり、心身の健康維持にも役立ちます。



17:30



地元で採れた野菜を買う

輸送距離が短くなり、CO2の排出量を減らせます。また、地元の旬の野菜を選ぶことで、地域の食文化を次世代に伝えることができます。



20:00



被災地の商品を買う

「買って応援」という形で、地域の復興を支え、人と人をつなぐ力になります。

